



# 2024年3月期第3四半期 決算補足資料

2024年2月7日

株式会社ウィルグループ (東証プライム市場 6089)

# 目次

## 1. 2024年3月期第3四半期累計 実績

## 2. 2024年3月期通期業績予想、配当予想

2024年3月期第1四半期連結会計期間より国内WORK事業、海外WORK事業の名称を、国内Working事業（略称：国内W）、海外Working事業（略称：海外W）にそれぞれ変更しています。

# 2024年3月期第3四半期累計 実績

# 1

# 2024年3月期第3四半期累計 連結実績

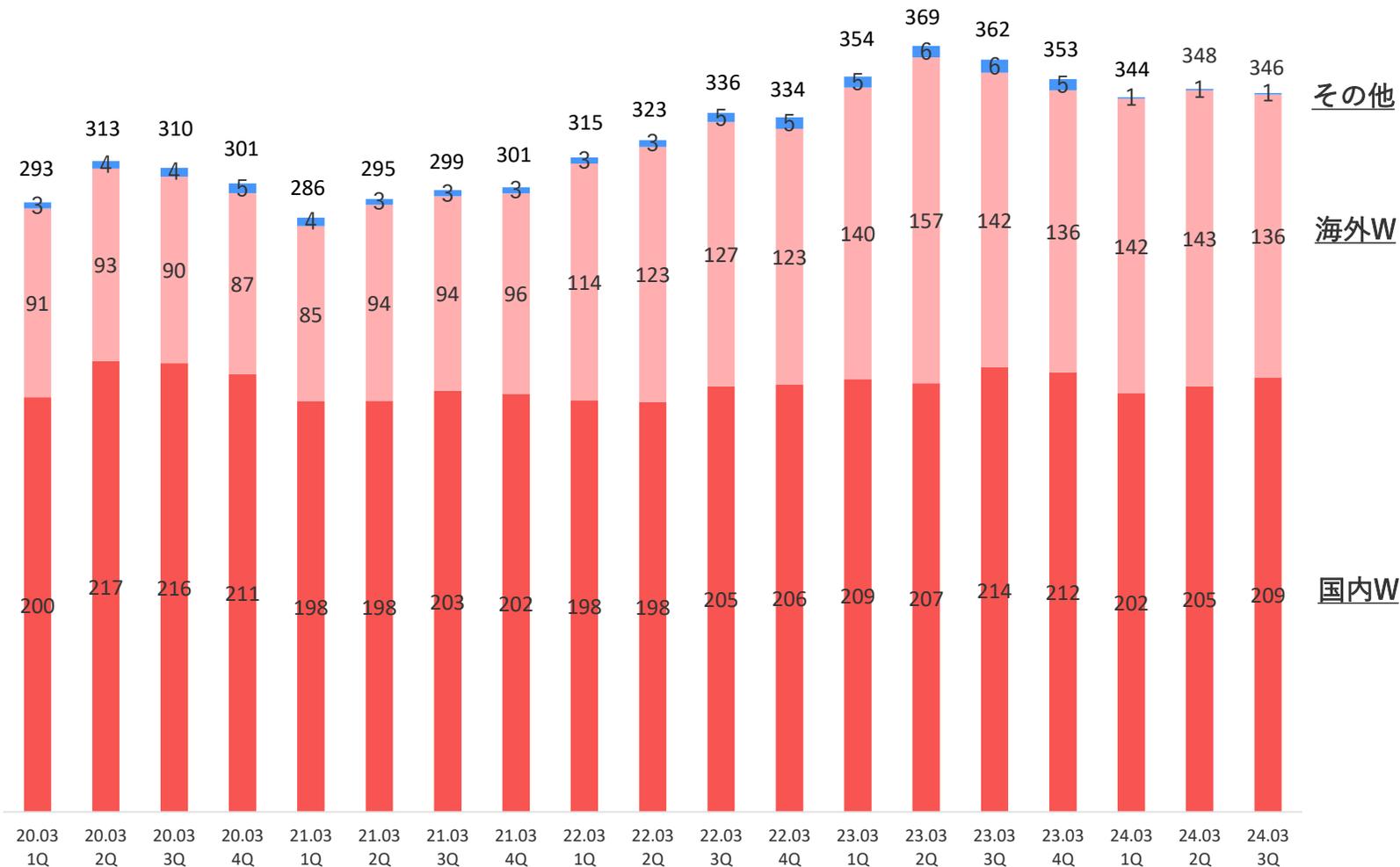
国内W、海外Wとも売上収益は伸び悩むものの、最注力している建設技術者領域は順調。

(億円)	前期	実績	前期比	
			増減	増減率
売上収益	1,086.1	<b>1,039.1</b>	△46.9	△4.3%
売上総利益 (売上総利益率)	241.6 (22.2%)	<b>231.0</b> <b>(22.2%)</b>	△10.5 (△0.0pt)	△4.4%
営業利益 (営業利益率)	38.6 (3.6%)	<b>27.9</b> <b>(2.7%)</b>	△10.7 (△0.9pt)	△27.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	22.8	<b>15.6</b>	△7.1	△31.4%
■KPI	計画	実績	進捗率	前期
採用人数/年（建設技術者領域）	1,270名	<b>1,126名</b>	89%	1,022名
定着率（建設技術者領域）	71%	<b>72%</b>	-	71%
正社員派遣稼働増加人数 (国内W（建設技術者領域除く）)	600名 (期末稼働人数 3,052名)	<b>233名</b> (3Q末稼働人数 2,685名)	39%	2,452名 (前期末稼働人数)
外国人管理受託増加人数 (国内W)	1,100名 (期末管理受託人数 2,850名)	<b>403名</b> (3Q末管理受託人数 2,153名)	37%	1,750名 (前期末管理受託人数)
人材紹介売上比率（海外W)	16%	<b>14%</b>	-	14%

従業員数：7,050人（前年度末比：+838人）

# 連結売上収益の四半期推移

(億円)

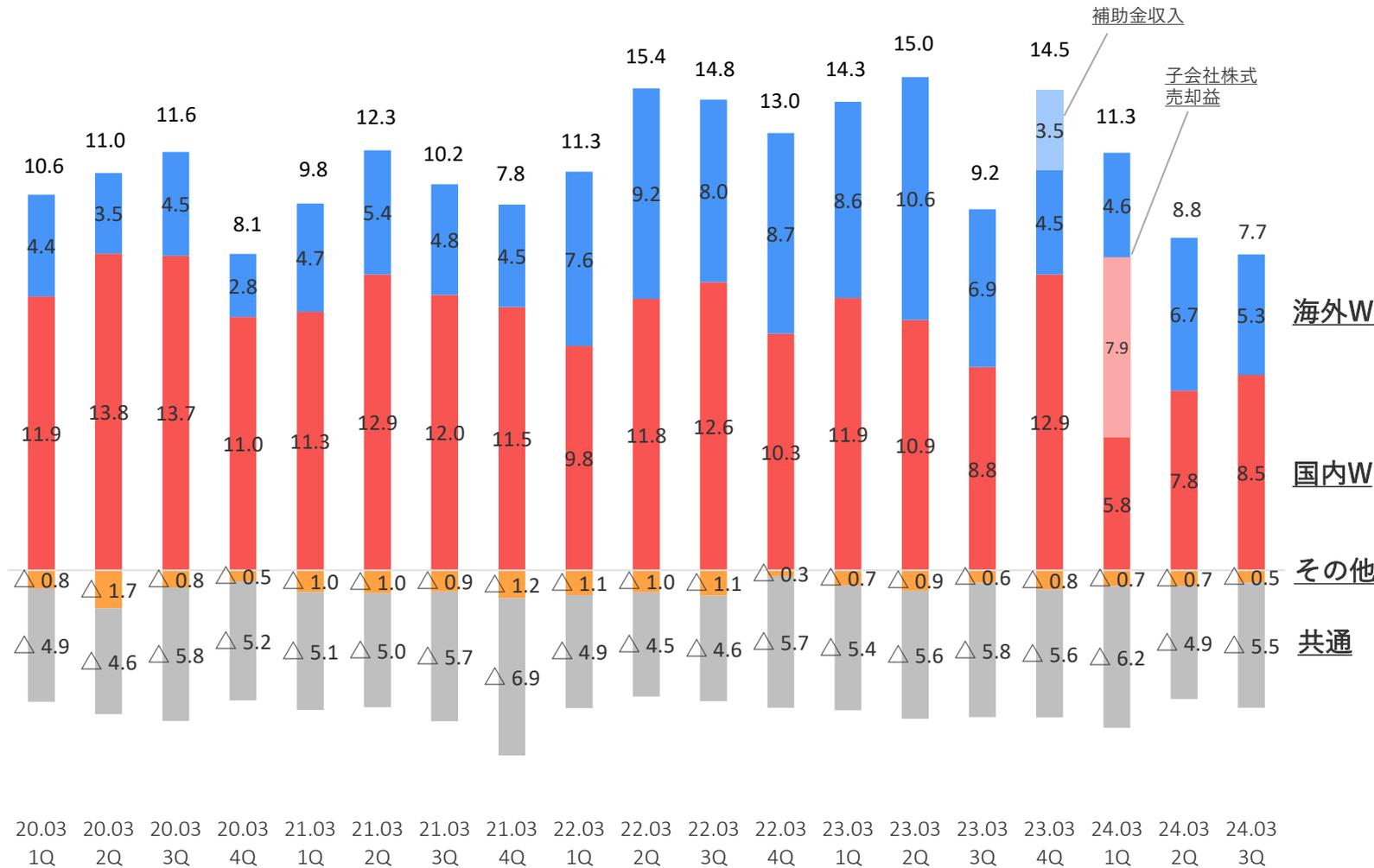


3Qは、  
24.3期2Q比：△2億円  
(うち為替影響：+1億円)

国内Wは横ばい。  
海外Wは派遣、  
人材紹介売上とも減少。

# 連結営業利益の四半期推移

(億円)



**3Qは、  
24.3期2Q比：△1億円**  
(うち為替影響：+0億円)

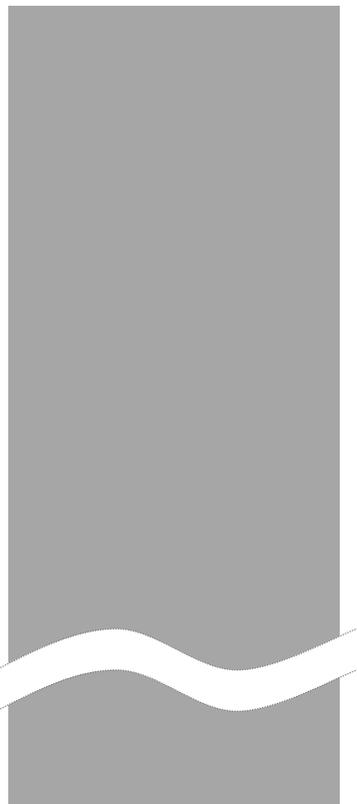
**国内Wの先行投資は、  
3Q：1.2億円実施。  
(2Q比△1.8億円)**

**海外Wは、売上減少により  
2Q比：△1.4億円。**

# 2024年3月期第3四半期累計 売上収益 前年同期増減内訳

(億円)

1,086.1



23.03  
3Q累計

△13.0

建設技術者領域 (+20.9億円)、ITエンジニア領域 (+3.5億円) コールセンターアウトソーシング領域 (△11.5億円)、子会社 (外国語指導助手派遣事業) 株式譲渡による連結除外影響 (△25.7億円)。

国内w

△18.8

人材派遣 (△20.7億円)、人材紹介 (△5.8億円)、為替影響 (+7.6億円)。

海外w

△15.2

前期の子会社株式譲渡による連結除外影響 (△15.1億円)。

その他

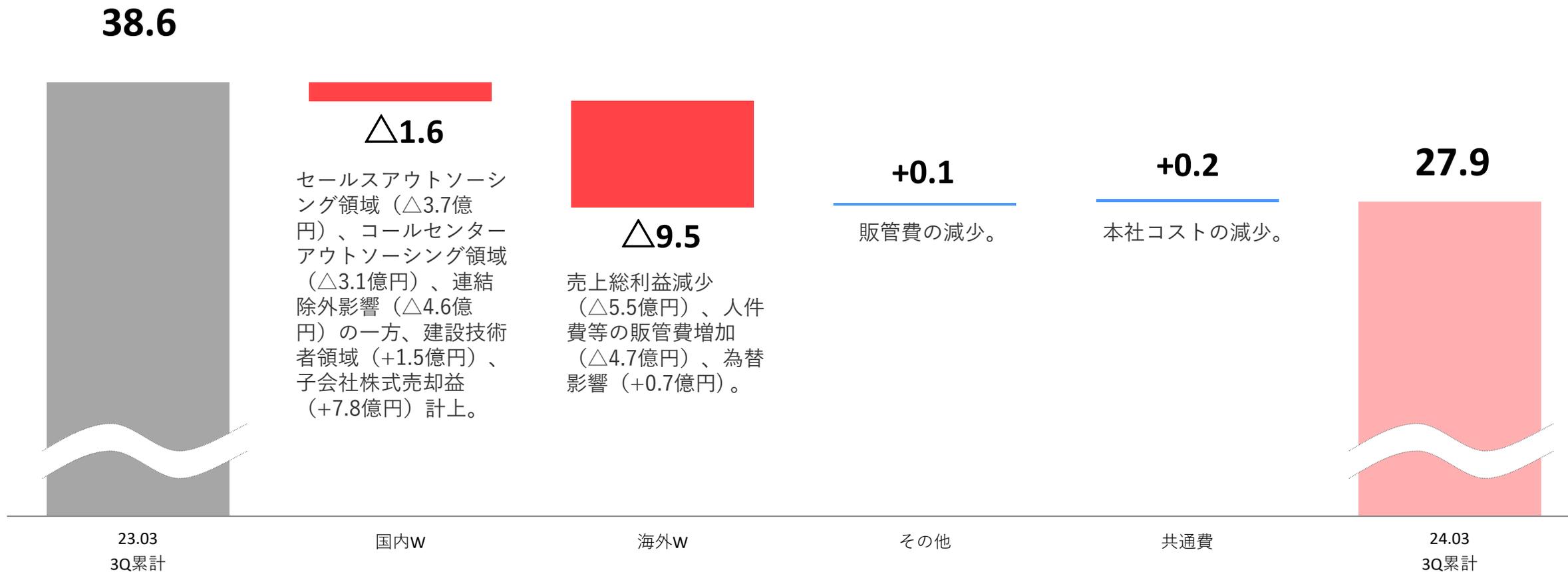
1,039.1



24.03  
3Q累計

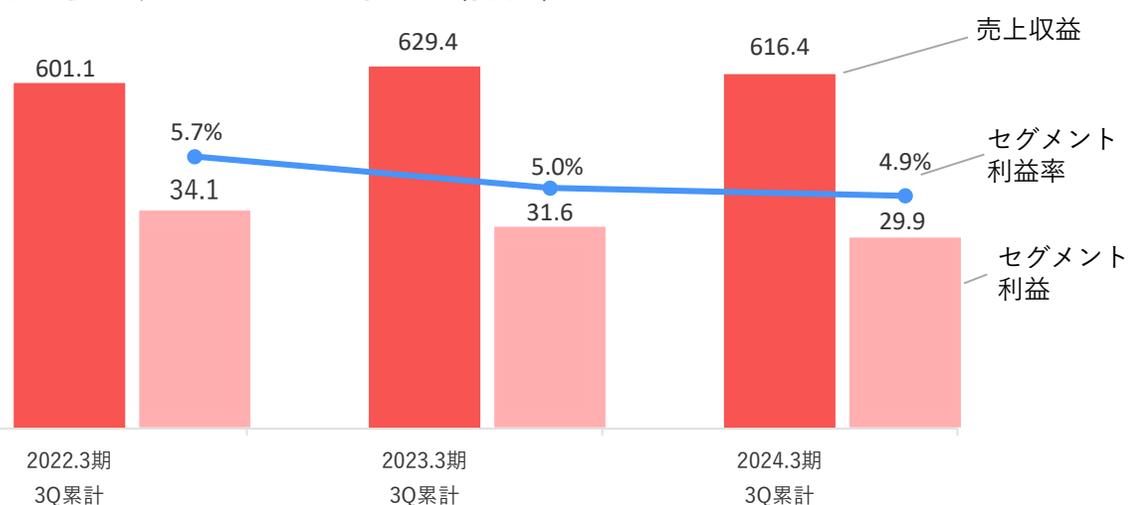
# 2024年3月期第3四半期累計 営業利益 前年同期増減内訳

(億円)



# 国内Working事業

## -売上収益、セグメント利益（億円）-

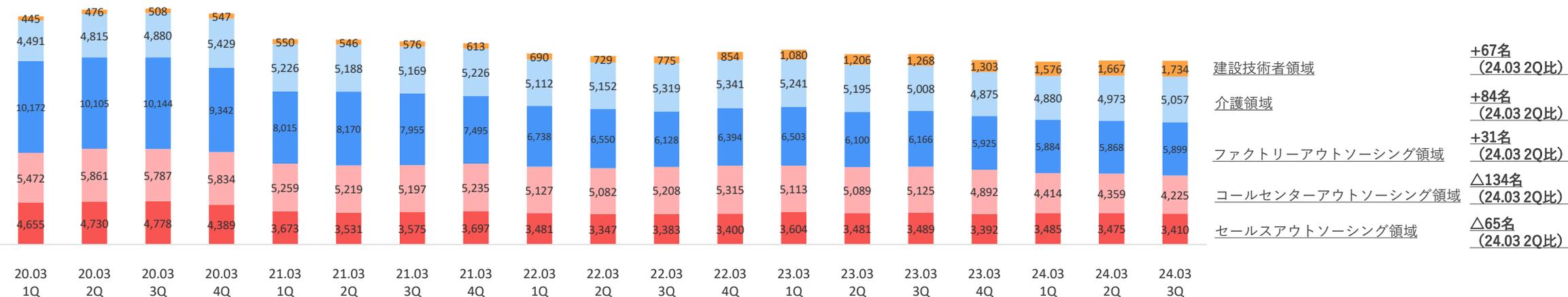


(億円)	実績	前期	前期比
売上収益	616.4	629.4	△2.1%
セグメント利益	29.9	31.6	△5.2%

### -トピックス-

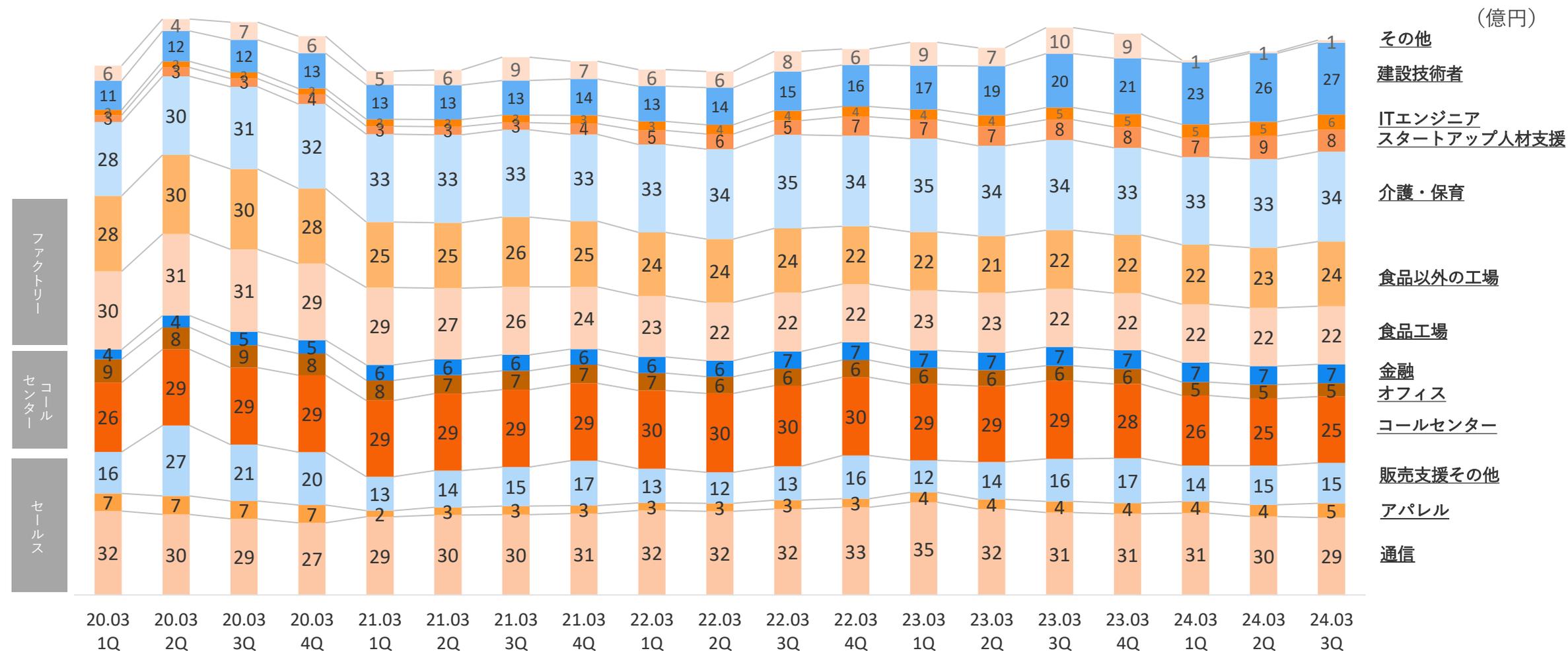
- 稼働人数は、セールス、コールセンター領域は減少が続くも、それ以外の領域は増加傾向。
- 先行投資（1Q：1.6億円、2Q：3.0億円、3Q：1.2億円）を実施。

## -稼働人数（人）-



# 国内Working事業（分野別売上の内訳）

建設技術者領域、スタートアップ人材支援領域は堅調に推移。



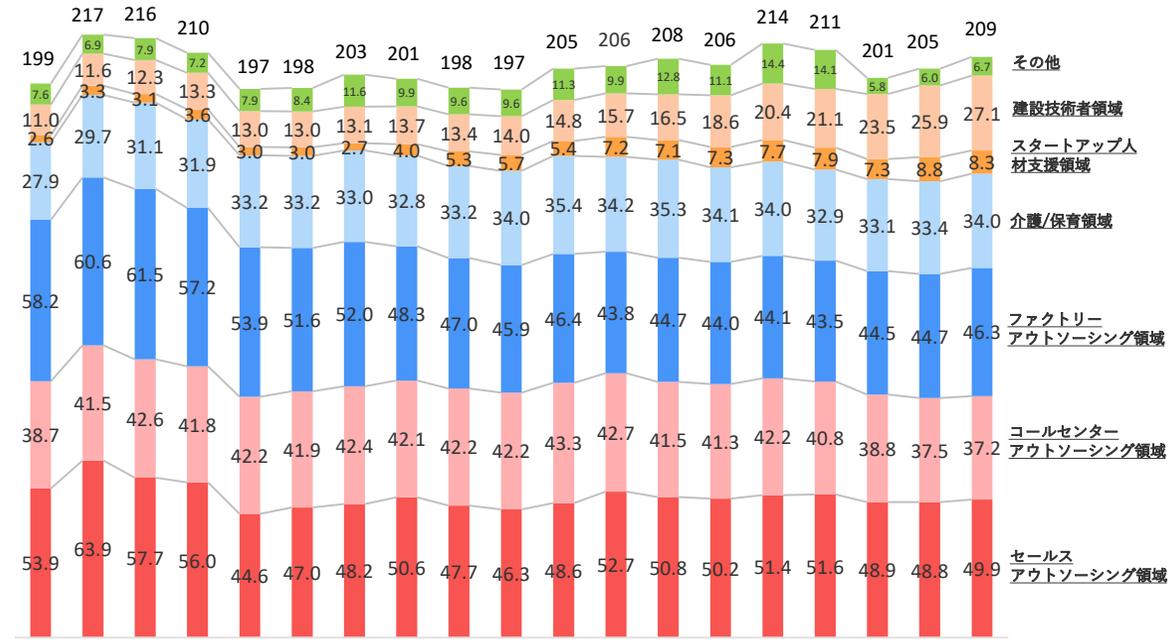
# 国内Working事業（領域別売上、営業利益）

## 売上収益の横ばい傾向が続くため、先行投資も取捨選択し販管費を抑制。

先行投資額(1Q：1.6億円、2Q：3.0億円、3Q：1.2億円)の内訳

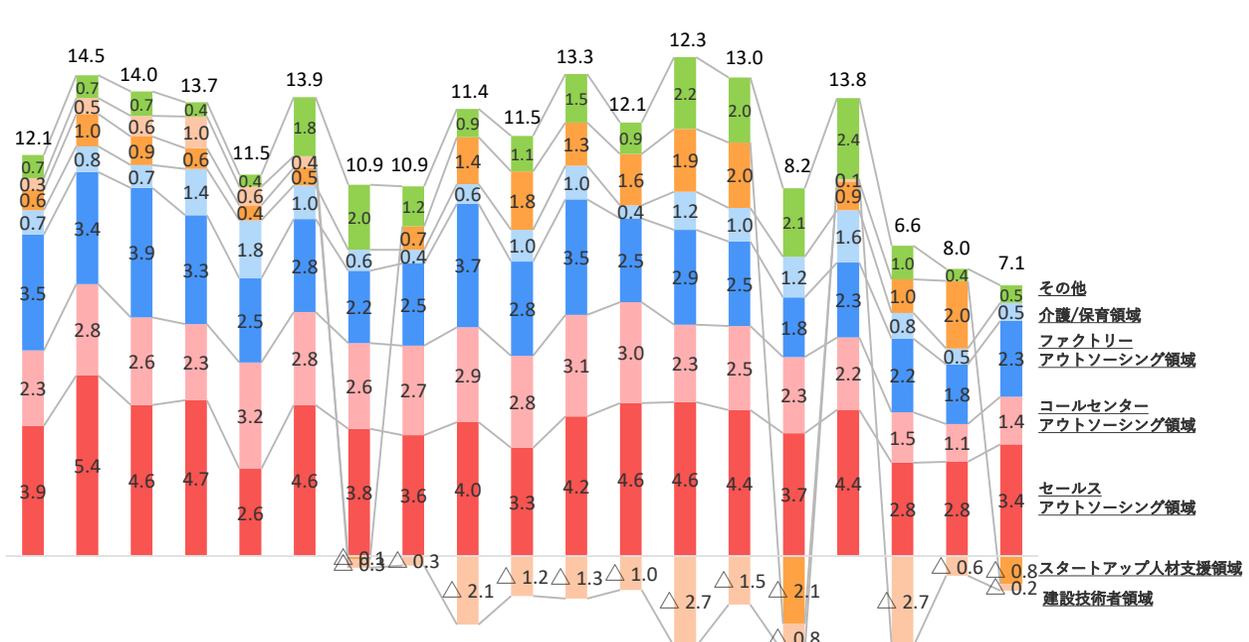
セールスアウトソーシング領域(1Q：0.2億円、2Q：0.0億円)、3Q：0.0億円)、ファクトリーアウトソーシング領域(1Q：0.3億円、2Q：0.4億円、3Q：0.4億円)、介護領域(1Q：0.1億円、2Q：0.2億円、3Q：0.0億円)、建設技術者領域(1Q：1.0億円、2Q：1.1億円、3Q：0.8億円)、プロモーション費用(1Q：0.0億円、2Q：1.3億円、3Q：0.0億円)

-領域別売上（億円）-



20.03 20.03 20.03 20.03 21.03 21.03 21.03 21.03 22.03 22.03 22.03 22.03 23.03 23.03 23.03 23.03 24.03 24.03 24.03  
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q

-領域別営業利益（億円）-



20.03 20.03 20.03 20.03 21.03 21.03 21.03 21.03 22.03 22.03 22.03 22.03 23.03 23.03 23.03 23.03 24.03 24.03 24.03  
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q

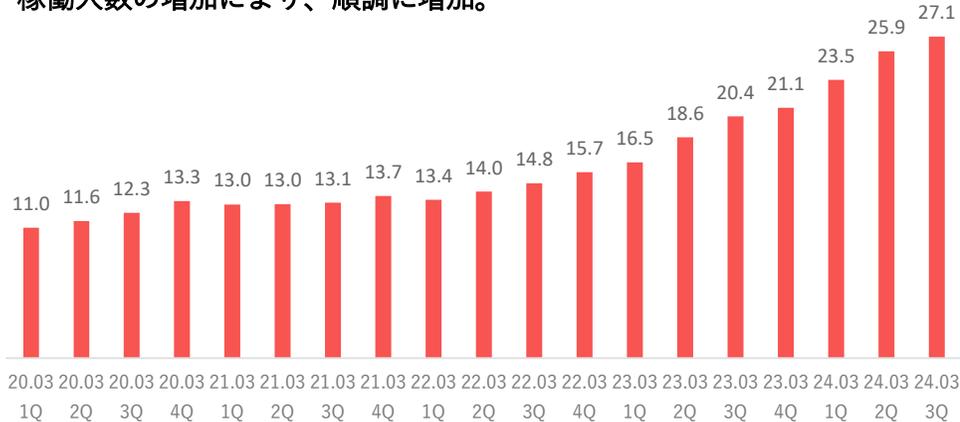
※セグメント内の連結調整は含んでいません。

# 建設技術者領域の進捗

## ■四半期別売上高の推移

単位：億円

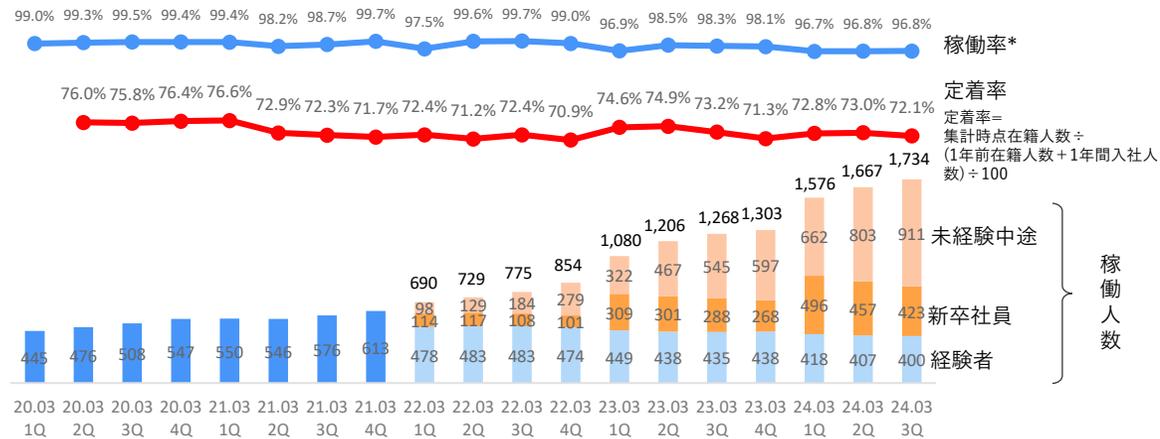
稼働人数の増加により、順調に増加。



## ■稼働人数、稼働率、定着率

単位：人

稼働率は高水準で推移。引き続き定着率向上に取り組む。



\*1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した6月単月の稼働率です

## ■採用人数

単位：人

今期目標：1,270名に対し、3Q累計で1,126名（進捗率：88%）と好調。

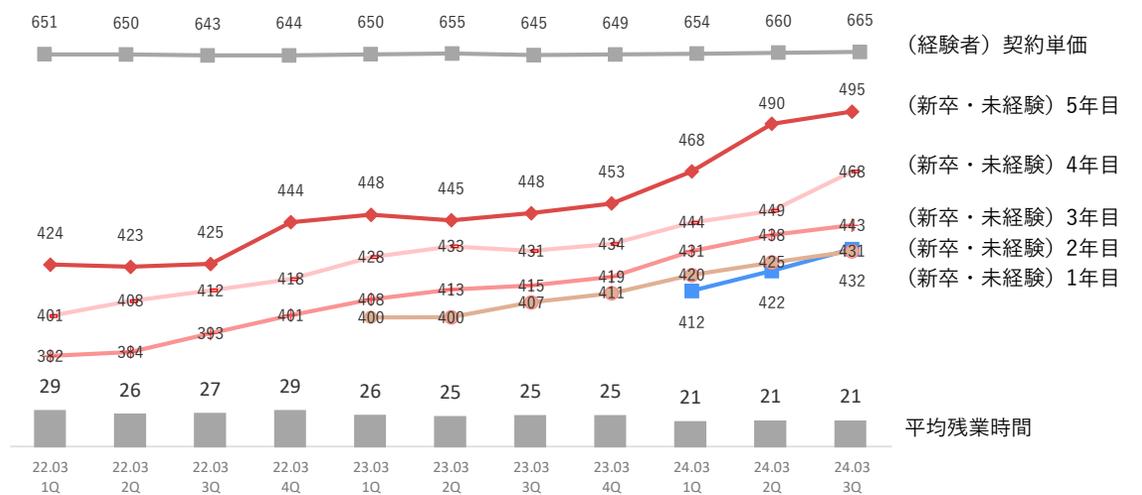
\*1Qは、新卒採用（前期：236名、今期：260名）を含む。



## ■平均契約単価、平均残業時間（月間）

単位：時間、千円

新卒・未経験の平均契約単価は、顧客とのチャージアップ交渉等により5%/年上昇。  
残業時間は横ばい傾向。

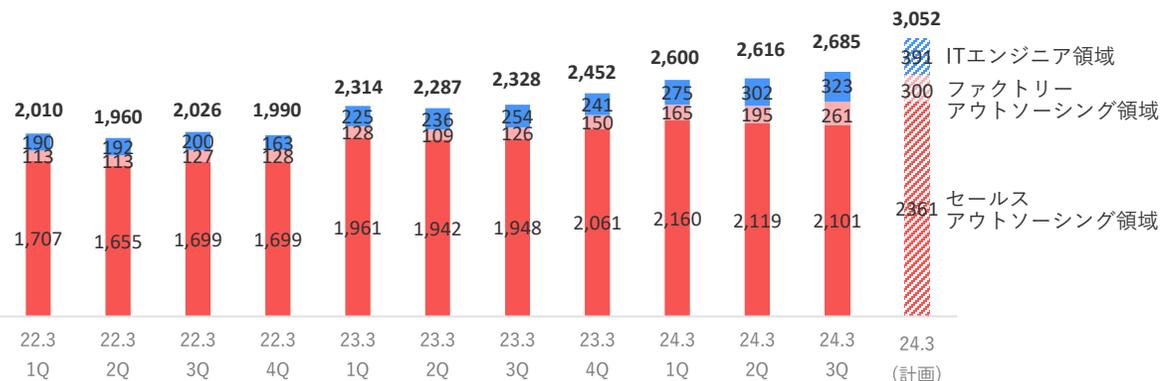


# 正社員派遣、外国人管理受託の進捗

## ■正社員派遣稼働人数

単位：人

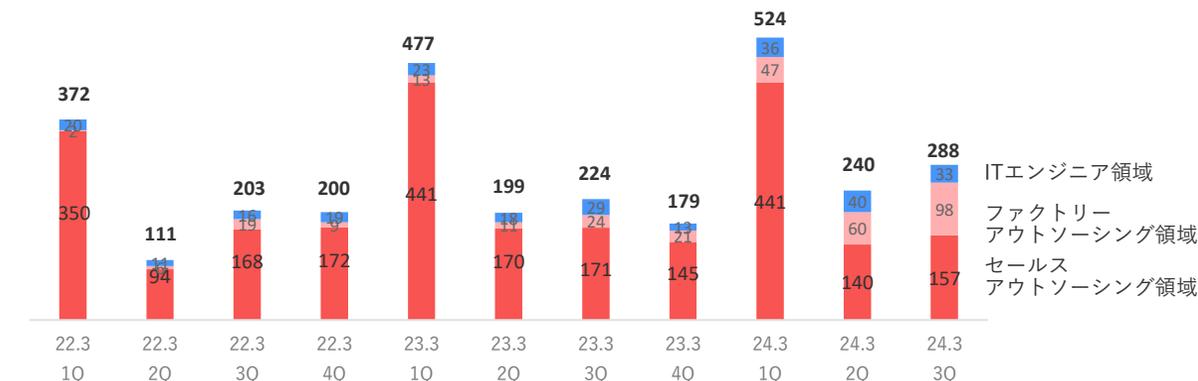
セールスアウトソーシング領域の中途採用が伸び悩んだことで、計画に対して遅れ。



## ■正社員派遣採用人数

単位：人

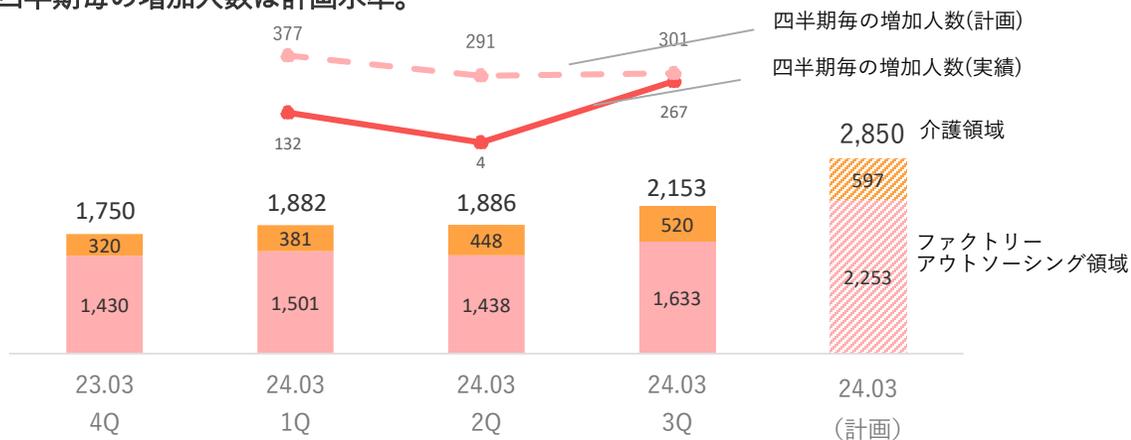
ファクトリーアウトソーシング、ITエンジニア領域の採用は順調。  
\*1Qは、セールスアウトソーシング領域の新卒採用280名を含む。



## ■外国人管理受託人数

単位：人

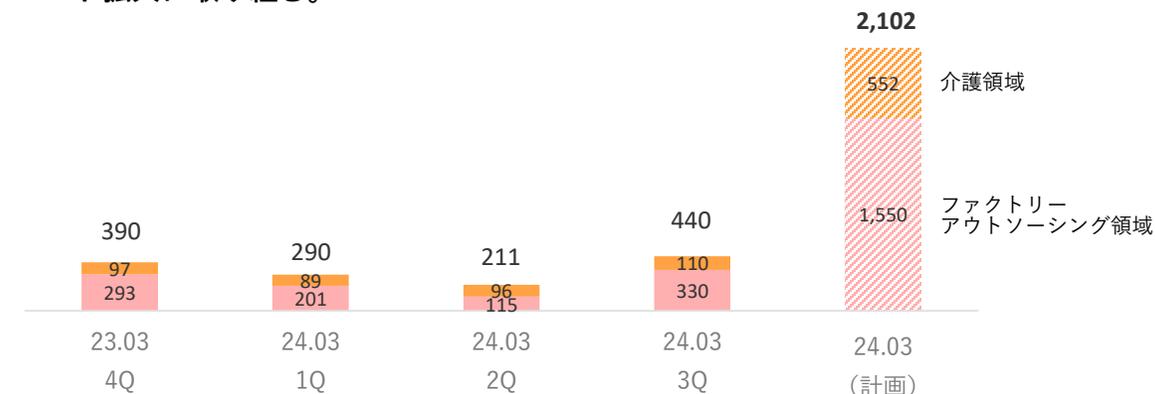
介護領域は順調に進捗。ファクトリー領域も3Qは受託人数が増加し、四半期毎の増加人数は計画水準。



## ■新規外国人管理受託人数

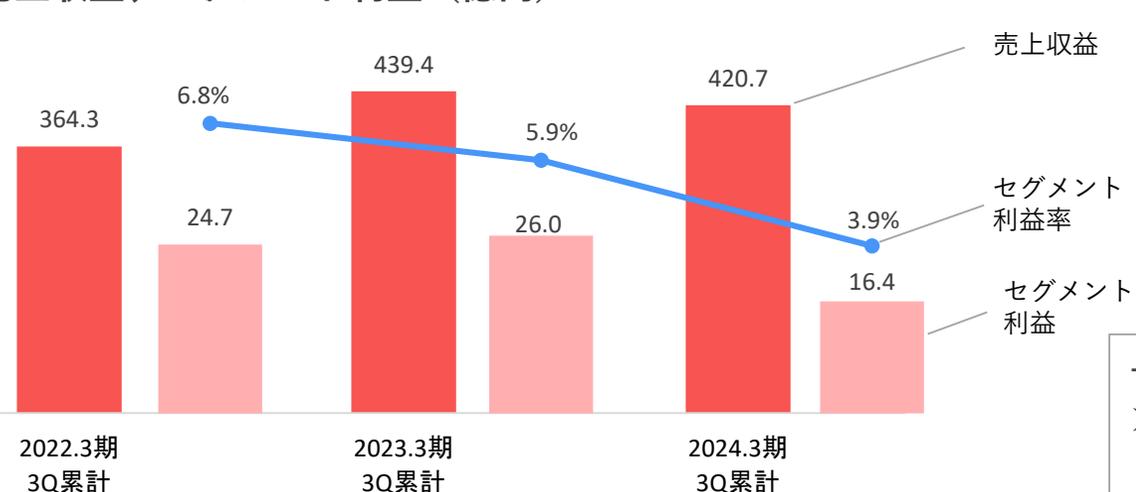
単位：人

企業からの受注数は順調に進捗しているものの、成約率の高い海外人材の受注が少なく、積み上げ出来ず。海外人材の受注数、海外人材の新たな採用ルート拡大に取り組む。



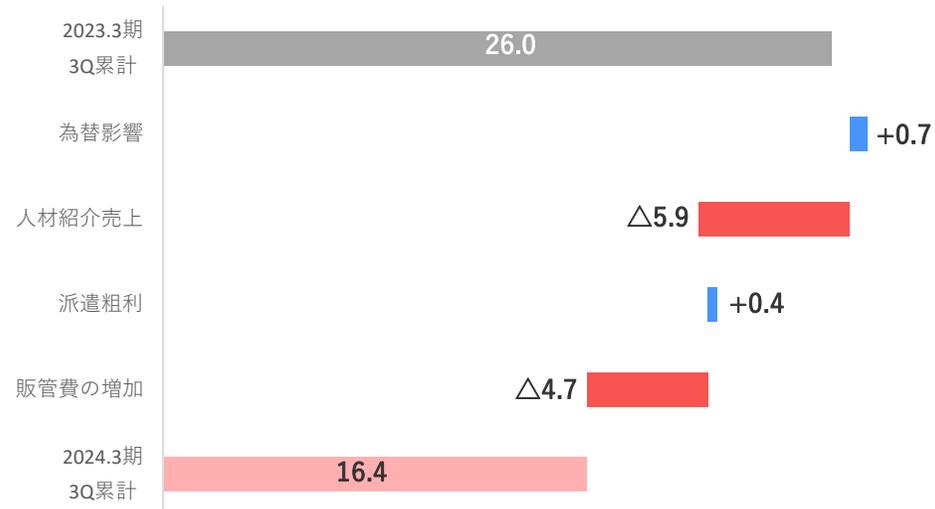
# 海外Working事業

## -売上収益、セグメント利益（億円）-



	実績	前期	前期比
売上収益	420.7	439.4	△4.3%
セグメント利益	16.4	26.0	△36.7%

## -セグメント利益増減要因（億円）-



### -トピックス-

- 人材紹介売上は前期のポストコロナの急激な人材紹介需要が一巡し減少。
- 派遣売上は減少するも、粗利率改善により派遣粗利は増加。
- 販管費は、主に人件費の増加等で前期比で+4.7億円。

### □ 為替感応度

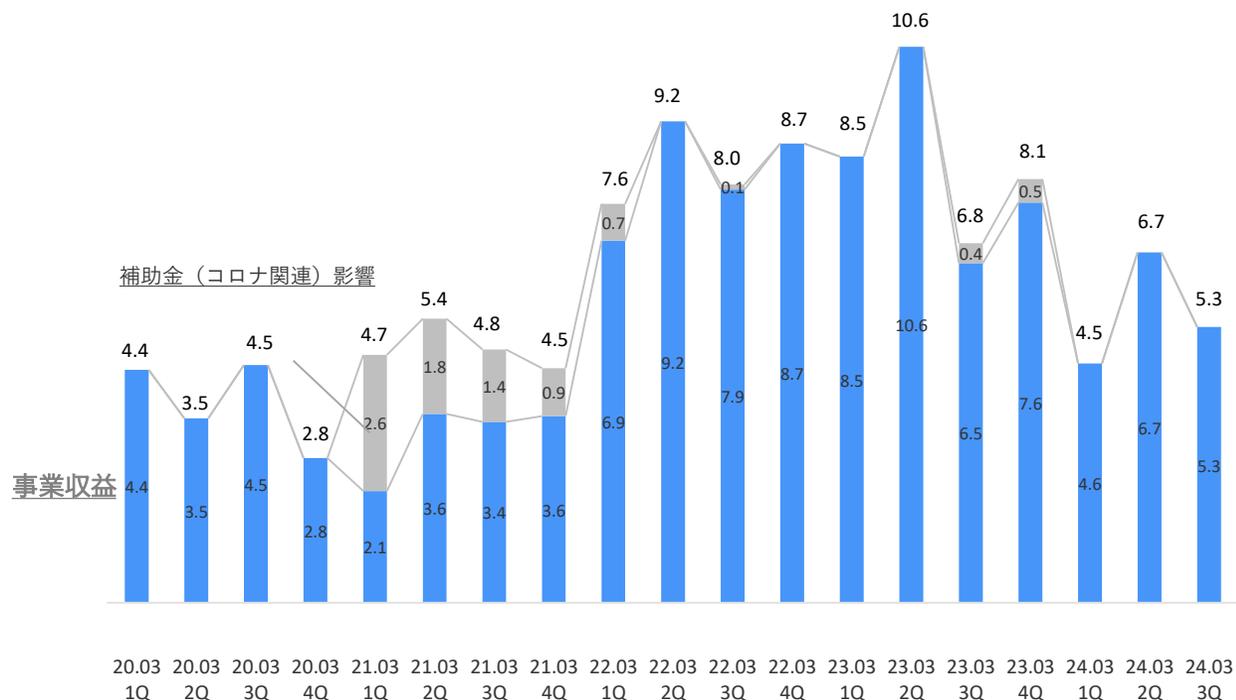
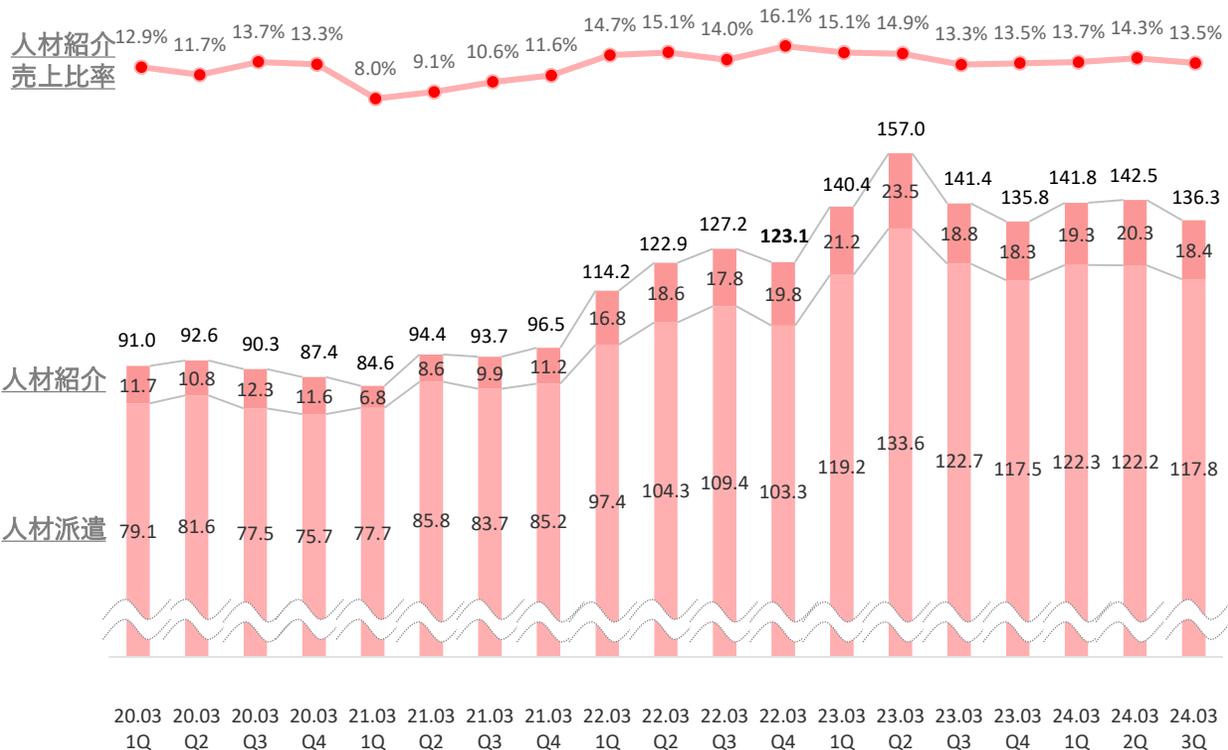
	計画レート	3Q実績レート	前年同期レート	1円変動による影響額/年	
				売上収益	利益
オーストラリアドル	86円	94円	93円	4.2億円	0.1億円
シンガポールドル	94円	106円	98円	1.4億円	0.0億円

# 海外Working事業（契約形態別売上、営業利益推移）

人材派遣売上は、オーストラリアにおいて一部顧客の採用抑制等で売上減少。  
 人材紹介売上は、前年度3Q以降ほぼ横ばい推移。  
 引き続き事業の進捗を見て、販管費をマネージしていく。

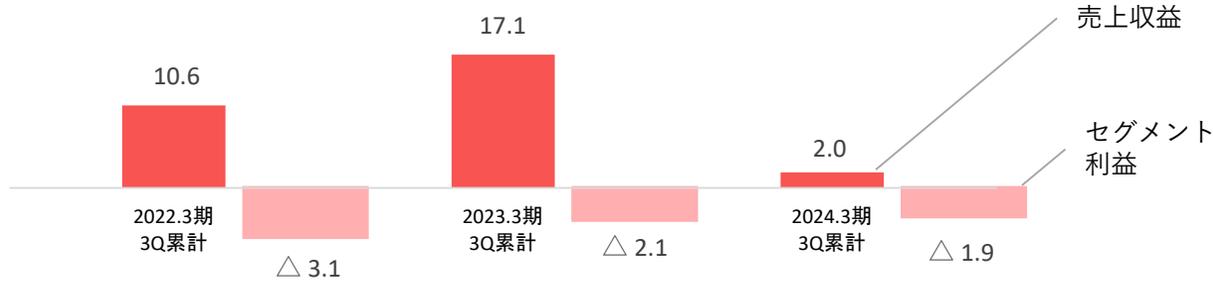
-契約形態別売上（億円）-

-営業利益（億円）-



# その他

## -売上収益、セグメント利益（億円）-



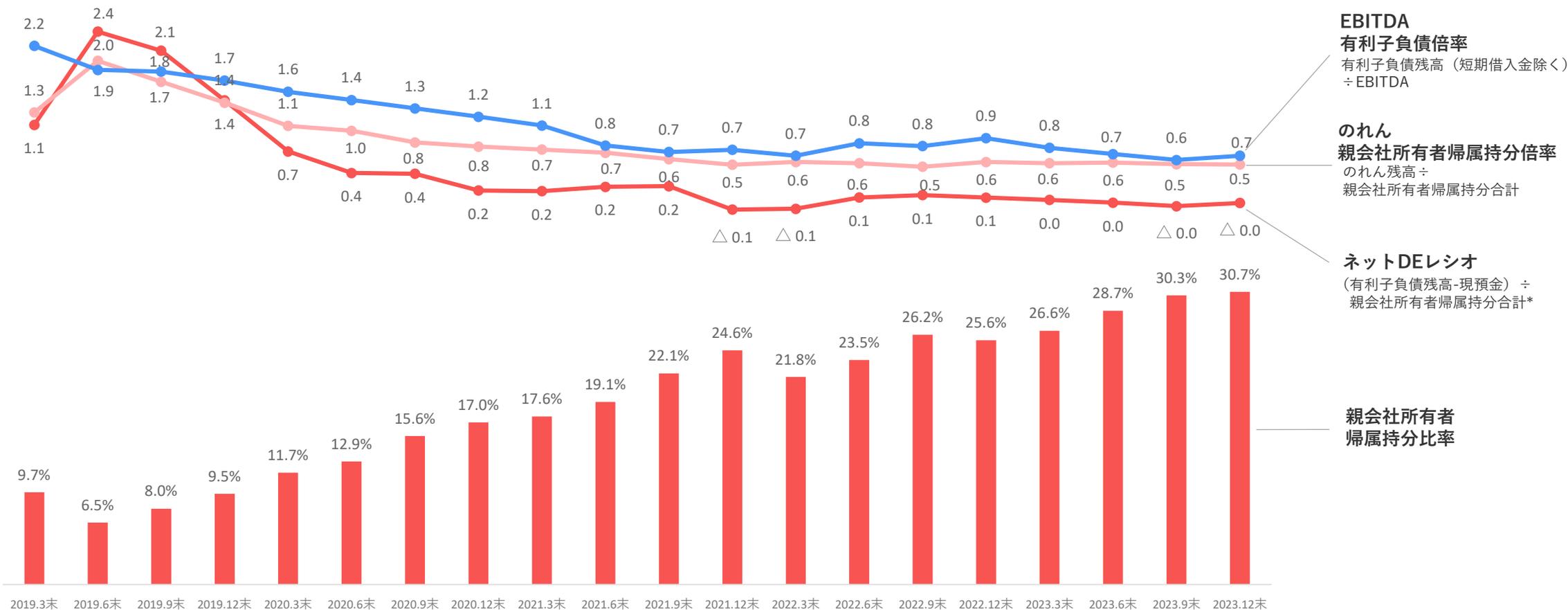
(億円)	実績	前期	前期比
売上収益	2.0	17.1	△88.1%
セグメント利益	△1.9	△2.1	-

-トピックス-

- 6月に子会社（ITコンサル）株式を譲渡（売却益は、計上なし）。
- 継続的に新たなプラットフォーム開発に向け取り組む。
- 3月に外国人雇用管理サポートサービス事業を吸収分割の方法により他社に売却。

親会社所有者帰属持分比率は、3Qで30.7%。各財務指標も改善傾向。

(倍)



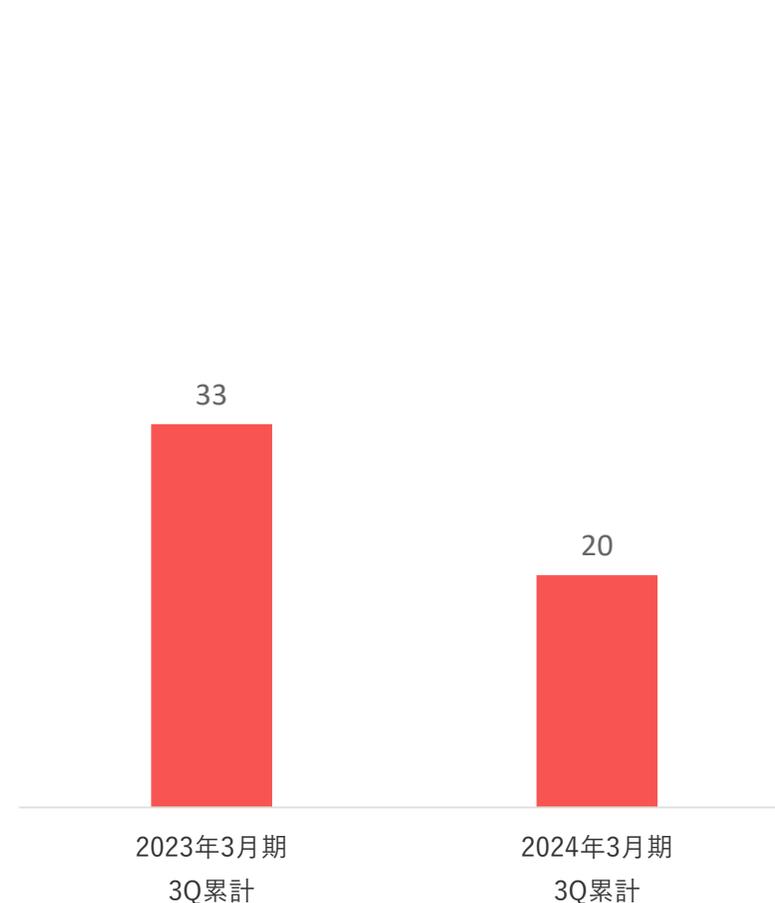
# 連結貸借対照表

(億円)	2023年 3月末	2023年 12月末	増減	主な増減要因
流動資産	286.6	251.3	△35.3	
うち現金及び現金同等物	95.9	67.5	△28.3	主に配当金の支払い（△10億円）、グループのキャッシュマネジメント向上等による借入金返済等
うち営業債権及びその他の債権	179.2	167.9	△11.2	
非流動資産	262.7	270.1	+7.4	
うちのれん	81.2	85.6	+4.4	
うちその他の無形資産	59.9	60.6	+0.6	
資産合計	549.3	521.4	△27.9	
流動負債	284.1	238.0	△46.1	
うち営業債務及びその他の債務	161.5	160.1	△1.3	
うち借入金	67.6	28.9	△38.7	グループのキャッシュマネジメント向上等により短期借入金純増減額（△30億円）、返済（△8億円）
うちその他の金融負債	13.6	22.6	+9.0	
非流動負債	106.4	111.5	+5.0	
うち借入金	33.8	37.7	+3.9	
うちその他の金融負債	59.5	60.7	+1.2	
負債合計	390.6	349.5	△41.1	
資本合計	158.7	171.9	+13.1	
うち親会社の所有者に帰属する持分合計	146.3	159.9	+13.5	親会社株主に帰属する四半期利益の計上（+15億円）
負債及び資本合計	549.3	521.4	△27.9	
親会社所有者帰属持分比率	26.6%	30.7%	+4.1pt	

# 連結キャッシュ・フロー

(億円)	2023年3月期 3Q累計	2024年3月期 3Q累計
税引前利益	37	27
減価償却費及び償却費	15	16
法人所得税の支払額	△21	△16
その他の営業活動	24	1
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>55</b>	<b>28</b>
有形固定資産等の取得及び売却	△2	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得及び売却	△17	0
その他の投資活動	△1	△4
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△21</b>	<b>△7</b>
有利子負債の純増減	7	△43
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得及び売却	△37	0
支払配当金	△7	△10
政府補助金による収入	0	0
その他の財務活動	0	1
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△38</b>	<b>△52</b>
為替変動の影響額	2	3
現金及び現金同等物の増減額	△2	△28
現金及び現金同等物期末残高	86	67
<b>フリーキャッシュ・フロー（営業C/F+投資C/F）</b>	<b>33</b>	<b>20</b>

## フリーキャッシュ・フロー推移 (億円)



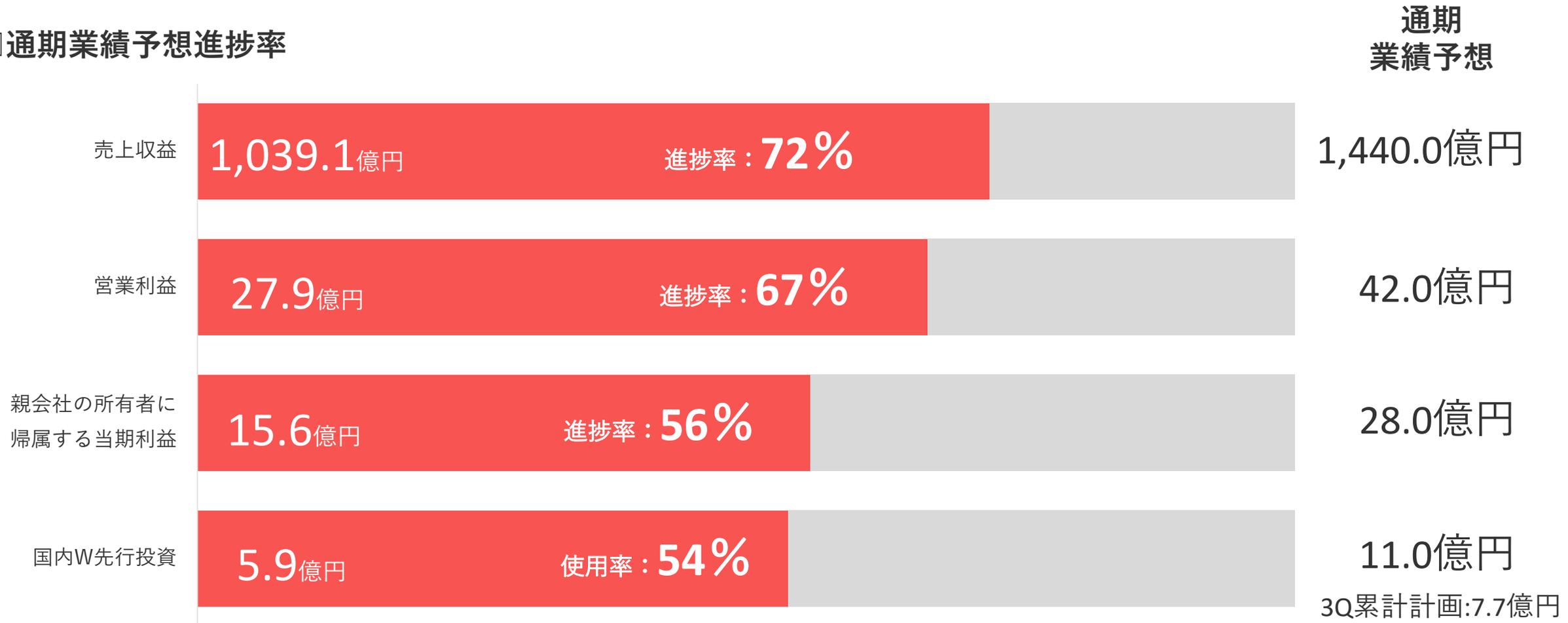
# 2024年3月期業績予想、配当予想

# 2

# 2024年3月期業績見通し

国内W、海外Wとも、業績予想に対して遅れ。グループ全体で販管費抑制に取り組む。

## □ 通期業績予想進捗率



# (参考) 2024年3月期通期連結業績予想

(億円)	2023.3月期	2024.3月期 (業績予想)	前期比		2024年3月期 3Q累計	
			増減	増減率	実績	進捗率
売上収益	1,439.3	1,440.0	+ 0.6	+ 0.0%	1,039.1	72%
うち国内Working事業	841.3	858.0	+ 16.6	+ 2.0%	616.4	72%
うち海外Working事業	575.3	578.5	+ 3.2	+ 0.6%	420.7	73%
うちその他	22.5	3.3	△19.1	△85.0%	2.0	60%
売上総利益	317.3	334.5	+ 17.1	+ 5.4%	231.0	69%
(売上総利益率)	22.1%	23.2%	+ 1.2pt	-	22.2%	-
営業利益	53.1	42.0	△11.1	△21.0%	27.9	67%
(営業利益率)	3.7%	2.9%	△0.7pt	-	2.7%	-
うち国内Working事業	44.5	37.8	△6.6	△15.0%	29.9	79%
うち海外Working事業	34.0	33.3	△0.7	△2.1%	16.4	49%
うちその他	△2.9	△3.1	△0.2	-	△1.9	-
うち調整額	△22.4	△25.9	△3.5	-	△16.5	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	32.3	28.0	△4.3	△13.5%	15.4	56%
EBITDA	74.5	62.9	△11.6	△15.6%	44.1	70%
為替レート			1円変動による影響額/年			
			売上収益	利益		
オーストラリアドル	93円	86円	4.2億円	0.1億円	94円	-
シンガポールドル	98円	94円	1.4億円	0.0億円	106円	-

# (参考) 2024年3月期連結業績予想 (国内W領域別)

建設技術者領域、ブランドプロモーションの先行投資は、計画通り実施するものの、それ以外は状況を見ながら実施。

(億円)

領域		2023.3月期 (実績)	2024.3月期 (業績予想)	増減	先行 投資枠	先行投資の内容	3Q累計		
							実績	進捗率	先行投資 実施額
セールス アウトソーシング領域	売上	203.9	210.1	+6.1	-		147.5	70%	-
	営業利益	17.1	14.8	△2.3	1億円	正社員派遣人員の採用費。	9.0	61%	0.2億円
コールセンター アウトソーシング領域	売上	165.8	167.3	+1.5	-		113.5	68%	-
	営業利益	9.3	6.6	△2.7	-		4.1	62%	-
ファクトリー アウトソーシング領域	売上	176.4	184.9	+8.5	-		135.5	73%	-
	営業利益	9.4	7.8	△1.6	1億円	正社員派遣人員の採用費、外国人管理受託の営業人員増員。	6.3	81%	1.1億円
介護ビジネス支援領域	売上	136.2	130.2	△6.0	-		100.4	77%	-
	営業利益	4.9	1.3	△3.6	1億円	外国人管理受託の営業人員増員。	1.8	136%	0.3億円
スタートアップ 人材支援領域	売上	29.9	33.0	+3.0	-		24.3	74%	-
	営業利益	2.6	3.7	+0.9	-		2.2	60%	-
建設技術者領域	売上	76.6	105.7	+29.0	-		76.4	72%	-
	営業利益	△4.9	△4.9	+0.0	5億円	新卒・未経験者採用費、営業人員及びフォロー人員の増員。	△3.5	-	2.8億円

株主還元方針に基づき、2024年3月期の配当は、前期同額の1株当たり44円の予定。

## 前中計(21.3期-23.3期)の株主還元方針

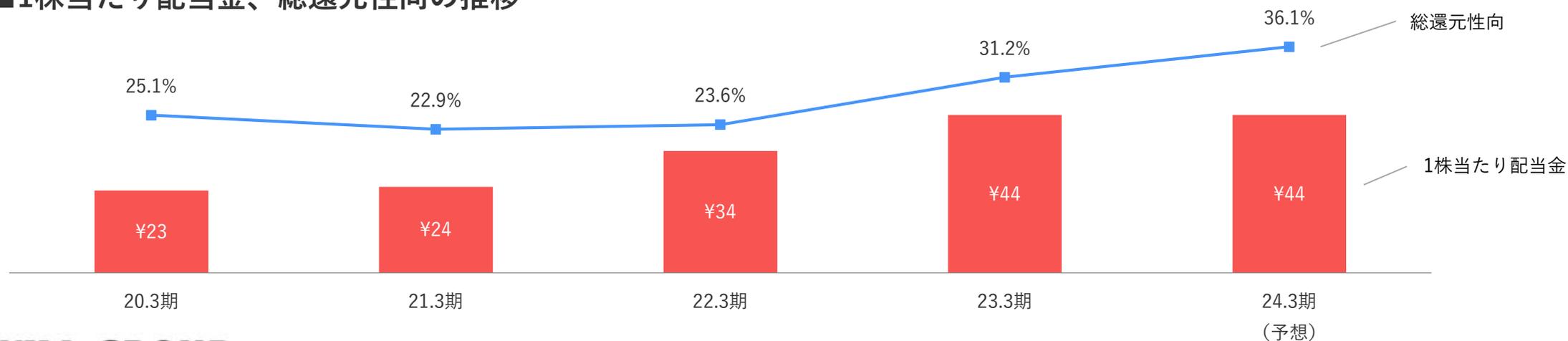
- ・ 総還元性向30%を目安  
(対期首業績予想)



## 中計(24.3期-26.3期)の株主還元方針

- ・ **累進配当**  
減配を原則実施せず、増配または維持
- ・ **総還元性向30%以上**  
期中の業績進捗に応じ機動的な自己株式取得を都度検討

## ■1株当たり配当金、総還元性向の推移



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ カンパニーセクレタリー室IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : ir@willgroup.co.jp

■ 「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶



# Appendix

# 海外（豪州、シンガポール）のマクロ環境



## 当社のビジネス環境

豪州、シンガポールとも求人件数は、2022年前半をピークに減少しており、業種別では、ITや金融等が減少しています。

安定した領域で展開している人材派遣は、堅調に推移している一方で、人材紹介は、ポストコロナの急激な人材紹介需要が前年度3Qで一巡しました。

人材紹介オーダー数の大幅な回復の見通しは立っておらず、進捗を見ながら人件費等の販管費をマネージしていきます。



## 関連経済指標

### ■ 求人件数

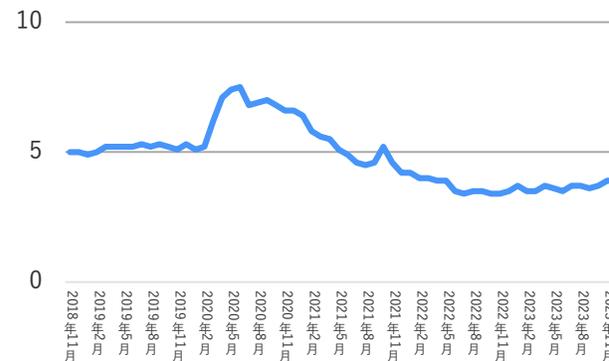
\*出典：豪州統計局

単位：千件



### ■ 完全失業率

\*出典：豪州統計局



### ■ 求人件数

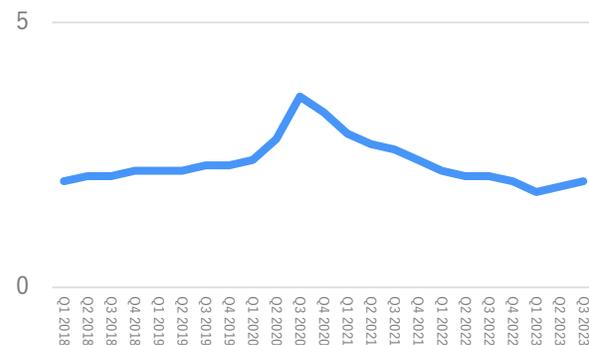
\*出典：シンガポール人材開発省

単位：千件



### ■ 完全失業率

\*出典：シンガポール統計局



# 減損リスクについて

ウィルオブ・コンストラクションは、将来の拡大に向けて先行投資期間。  
海外は、ポストコロナの人材紹介需要が一巡し、概ねコロナ前の水準。

(億円)

	主要拠点	事業内容	連結開始 (持分割合)	投資残高 *1	*2	2020.3期 3Q累計	2021.3期 3Q累計	2022.3期 3Q累計	2023.3期 3Q累計	2024.3期 3Q累計
 ウィルオブ・コンストラクション	首都圏、東北	東北地方を中心に建設技術者派遣・紹介を展開。経験・スキルの高い施工管理技士が多数在籍しており、特に建築土木の大型工事の技術者派遣において優位性を持つ。	2018/6 (100%)	24.3	売上	34.8	39.0	42.1	55.5	76.4
					利益*3	1.4	0.6	△4.5	△5.0	△3.5
	シンガポール	シンガポールを中心に、香港、日本、米国、中国、オーストラリア及び英国の各国の完全子会社を通じて、HR領域に特化した人材紹介、コンサルティング事業を展開。	2019/1 (100%)	28.8	売上	15.8	11.5	19.3	17.5	14.0
					利益	5.0	3.5	7.6	5.3	2.5
	ブリスベン	オーストラリアにおいて、政府機関及び大手企業に対して人材紹介及び人材派遣を展開。	2019/4 (100%)	43.9	売上	62.6	60.7	86.2	90.4	101.2
					利益	6.0	5.8	12.2	9.2	8.1
	メルボルン	オーストラリアにおいて、政府機関、通信企業、エネルギー企業、電化製品製造業等、様々な業界の機関・企業に対し、事務職、コールセンター関連職の人材紹介及び人材派遣を展開。	2018/1 (100%)	16.2	売上	114.9	125.4	122.0	137.2	114.6
					利益	3.5	3.1	3.0	5.3	4.2

4 社合計投資残高 : 113億円  
連結投資残高 : 133億円

\*1 投資残高は、のれん残高と識別可能な無形資産残高の合計です。

\*2 連結開示時期を問わず、売上、利益の実績については連結会計期間の4月-12月の実績を記しています。

また、為替影響を除くため、1シンガポールドル=106円、1オーストラリアドル=94円で換算しています。

\*3 利益については、識別可能な無形資産の償却額、内部取引、一時的に発生した費用を除いた税引前利益です。

# 地域別 契約形態別 売上収益

## 国内

## 海外

(億円)

